

ESA アップグレード手順

目次

[概要](#)

[アップグレード準備](#)

[GUIによってESAをアップグレードして下さい](#)

[CLIによってESAをアップグレードして下さい](#)

[重要なアップグレードメモ](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に GUI または CLI の Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) をアップグレードする方法を記述されています。

アップグレード準備

Cisco は [ESA リリース ノート](#) を検討すること、そして ESA アップグレードのシステムを準備するためにこの資料に説明があるこれらのステップを完了することを推奨します:

1. ESA から XML コンフィギュレーション ファイルをコピーし、保存して下さい。
2. Safelist/Blocklist 機能を使用する場合、[アプライアンスからリストをエクスポートして下さい](#)。
3. リスナーを中断して下さい。
注: 単一 ESA があり、メール フローに影響を与えたいと思わなかったらリスナーを中断しないで下さい。メール フローは再度ブートするの間に影響を与られます。
4. GUI によってサーバをアップグレードして下さい。Cisco はリストから最新の利用可能なバージョンを選択することを推奨します。
5. リスナー (3) ステップを、アップグレードが完了する後リスナーをアクティブにするために中断したら CLI に `レジューム` を入力して下さい。

警告: アップグレードを開始する前にアプライアンスの操作上健全性を確認して下さい。RAID ステータスが「最適」。であることを確認するために CLI で `version` コマンドを入力して下さい。アプライアンスに壊れるハードディスク ドライブ (HDD) がある場合、サポート ケースをオープンし、HDD RMA を完了し、アップグレード前に再製して下さい。壊れる HDD のアプライアンスをアップグレードする場合、単一 HDD を使って作動するアプライアンスの HDD 破損および不慮問題の原因となるかもしれません。

GUI によって ESA をアップグレードして下さい

注: Cisco はアップグレードするとき、CLI によってアップグレードを実行しないことを

推奨します。これはアップグレードパッケージのダウンロードに関してより多くの詳細、およびアップグレードプロセスのまた詳細を提供します。アップグレードの問題か失敗の場合には、CLI からの出力は Cisco サポートに解決するとき有用証明します。

GUI オンライン ヘルプは ESA アップグレード 方式および必要条件についての詳細な使用説明書が含まれています。> GUI からのオンライン ヘルプは助けるために単にナビゲートし、アップグレード AsyncOS を探すためにインデックス タブを使用します。ESA をアップグレードするために提供される情報を使用して下さい。

CLI によって ESA をアップグレードして下さい

CLI から ESA をアップグレードするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ESA コンフィギュレーションの設定を電子メールにコピーし、あなた自身にそれを送信して下さい。パスワードを含むためにプロンプト表示されるとき『Yes』を選択して下さい。これは必要ならばコンフィギュレーション ファイルをインポートすることを可能にします。
注: 1 ESA がある場合、ESA アップグレードが起こる間、メール フローが続くように安全です。ESA が受け入れない唯一の時メールはリブートするときあります。
2. 複数の ESA がある場合、アップグレードするように意図するマシンのリスナーを中断して下さい。suspendlistener を CLI に入力し、受信リスナーを選択して下さい。メール フローの他のマシン ハンドルすべて。
3. CLI にアップグレードを入力して下さい。ESA は AsyncOS 新しいバージョンをダウンロードし、適用します。このプロセスはネットワーク速度におよそ 10 から 30 分、依存および AsyncOS バージョンを奪取します。
4. アップグレードが完了するとき、ESA は CLI でリブートする 30 秒まで前にリポートするためにプロンプト表示し提供します。(再度ブートするの間に、ESA がオンラインだったかどうか確認するために IP アドレスを ping できます。)
5. 再度ブートするが完了したら、ESA にログインし、リスナーをアクティブにして下さい。resumelister を CLI に入力し、中断されるリスナーを選択して下さい。
6. メール フローを確認するために、CLI に末尾 mail_logs を入力して下さい。

重要なアップグレード メモ

ESA リリース ノートを読み、この資料に説明があるステップを完了すれば、管理者ユーザとして ESA の CLI にログインし、アップグレードを入力することができます。

ESA リリース ノートで利用可能のアップグレードの指示に従うことは重要です。アップグレードするように試みればおよび AsyncOS 望ましいバージョンが利用できなければ、ESA が割り当て直接アップグレード バージョンを実行する可能性が高いといえます。修飾されたアップグレード パスに関する ESA リリース ノートを参照して下さい。

ESA システムが直接アップグレードをサポートしない AsyncOS バージョンを稼動すれば、リリース ノートで指定どおりに複数のアップグレードを行って下さい。アップグレード パスの次の

ステップだけあなたに説明され、公認レベルにあれば次の修正は示されています。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [ESA に関する FAQ : どのように Safelists/Blocklists のバックアップを生成しますか。](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)